

みずほマーケット・トピック (2018 年 9 月 21 日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

1. 為替相場の動向 (関連レポート: 「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は上値を切り上げる展開。週初 17 日に 111 円台後半でオープンしたドル/円は祝日のため東京市場が休場となる中で 112 円台前半まで小幅に上昇したが、米国が中国に対する追加関税を今日にも発動すると思惑が広がり 111 円台後半まで押し戻された。18 日の東京時間朝方にトランプ米大統領が追加関税の発動を正式に表明し週安値となる 111.66 円をつけたが、当初賦課される追加関税率が 10%と事前予想 (25%) より低く設定されたことが好感され 112 円近辺まで反発。その後は米 10 年国債利回りが 3.09%台と 5 月以来の高水準に達したことを手がかりにドル/円は 112 円台前半まで続伸した。19 日は中国の李首相が「輸出競争力の向上を目的に人民元を切り下げることはない、今後も慎重な金融政策を堅持する」と言明したことからリスク選好が強まる中、112 円台半ばまで値を上げた。20 日は「中国が米国以外の貿易相手国に対する平均関税率の引き下げを検討中」と報じられたことを受け、貿易摩擦に対する過度な懸念が後退すると週高値となる 112.58 円をつけた。本日のドル/円相場は 112 円台半ばを推移している。
- 今週のユーロ/ドル相場は週後半に上昇した。週初 17 日に 1.16 台前半でオープンしたユーロ/ドルは週安値となる 1.1618 をつけたが、ドル売り優勢地合いとなる中で 1.16 台後半まで値を上げた。その後はトランプ大統領が中国への制裁関税を賦課することに対する警戒感からユーロ/円が下落する展開に、ユーロ/ドルは上値を押さえられた。18 日はユーロ/円が上伸する動きに 1.17 台前半まで連れ高となったが、その後は米金利上昇を背景にドル買い優勢地合いに転じると 1.16 台半ばまで反落した。19 日は再び 1.17 を上抜けたが、メイ英首相が EU 離脱後のアイルランド国境問題に関する EU の修正案を拒否すると報じられポンドが下落する動きに 1.16 台半ばまで下落。しかし、終盤にかけてポンドが持ち直したことでユーロ/ドルも 1.17 手前まで反発した。20 日は欧州株式の堅調推移を背景にユーロ買いが加速し 1.17 台後半まで急伸したが、米金利上昇や米株の堅調推移を受けドル売りが一服し 1.17 台前半まで反落した。本日のユーロ/ドルは 1.17 台後半で週高値を更新している。

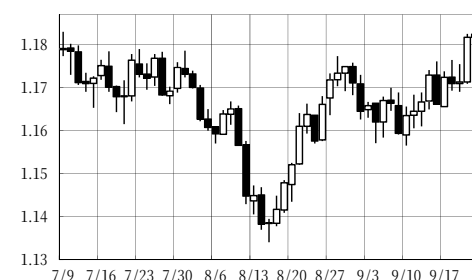
今週のおもな金融市場動向 (出所: ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		9/14(Fri)	9/17(Mon)	9/18(Tue)	9/19(Wed)	9/20(Thu)
ドル/円	東京9:00	112.03	111.96	111.69	112.29	112.32
	High	112.17	112.12	112.39	112.44	112.58
	Low	111.76	111.76	111.66	112.16	112.05
	NY 17:00	112.08	111.84	112.36	112.29	112.48
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1692	1.1624	1.1669	1.1679	1.1674
	High	1.1721	1.1698	1.1725	1.1715	1.1785
	Low	1.1620	1.1618	1.1652	1.1651	1.1669
	NY 17:00	1.1622	1.1684	1.1670	1.1673	1.1777
ユーロ/円	東京9:00	131.00	130.35	130.32	131.14	131.13
	High	131.12	131.04	131.49	131.68	132.52
	Low	130.20	130.11	130.30	130.80	130.93
	NY 17:00	130.22	130.67	131.08	131.10	132.49
日経平均株価		-	23,094.67	23,420.54	23,672.52	23,674.93
TOPIX		-	1,728.61	1,759.88	1,785.66	1,787.60
NYダウ工業株30種平均		26,154.67	26,062.12	26,246.96	26,405.76	26,656.98
NASDAQ		8,010.04	7,895.79	7,956.11	7,950.04	8,028.23
日本10年債		-	0.12%	0.12%	0.12%	0.12%
米国10年債		3.00%	2.99%	3.06%	3.06%	3.06%
原油価格 (WTI)		68.77	68.68	69.59	70.77	70.32
金 (NY)		1,193.50	1,201.47	1,198.38	1,204.04	1,207.20

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 来週、米国では9月25～26日にかけてFOMCが予定されており、FF金利誘導目標を25bp引き上げ2.00～2.25%とすることはほぼ確実である。また、現在の金融政策スタンスに関する「accommodative」という文言も声明文から削除するとみられる。今回の会合ではパウエルFRB議長の記者会見があるほか、FOMCメンバーの経済見通し(Summary of Economic Projection, SEP)も公表される。大きな変更は想定されないが、FOMCメンバーの政策金利見通し(ドットチャート)における長期見通しが上方シフトするかどうかなどに注目したい。経済指標では、26日(水)に8月新築住宅販売件数の発表がある。7月は年率+62.7万件と6月(63.8万件)から減少した。最近の住宅関連指標は弱く、販売に関する一連の指標は需要減少を示唆しており、ミシガン大学消費者信頼感調査によると、家計の住宅購入環境は8月に2008年12月以来の低水準となった。また、全米抵当銀行協会(MBA)の住宅ローン申請の購入指数も8月は18か月ぶりの低水準に落ち込んでいる。住宅価格が上昇しているほか、住宅ローン金利は年初に大きく上昇し4%台後半で高止まりしており、家計が住宅を取得する環境は悪化している。市場では、8月の販売は前月比+0.6%の年率+63.1万件と小幅な上昇が見込まれているものの、年初から続く弱めの基調が続くそう。
- 本邦では、28日(金)に8月鉱工業生産(速報)が発表される。7月の生産は前月比▲0.2%(6月:同▲1.8%)と3か月連続で減少した。7月6～7日にかけて西日本で発生した集中豪雨も影響したとみられるが、それを考慮しても冴えない結果であった。製造工業生産予測調査をみると、8月は前月比+5.6%と大幅な増産が計画されているものの、1か月先の予測指数には上振れバイアスがある。経済産業省が補正した試算値では、8月は同+1.2%の増産にとどまる見通しである。生産に関連する統計を確認すると、企業マインド指標は前月から改善し、8月の実質輸出は前月比+2.1%(7月:同+0.3%)と増加しており、こうした中、市場では8月の鉱工業生産指数は前月比+1.5%と予想されている。

	本 邦	海 外
9月21日(金)	-----	・ユーロ圏9月製造業/サービス業PMI(速報)
24日(月)	秋分の日	・独9月IFO企業景況指数 ・米8月シカゴ連銀全米活動指数
25日(火)	・8月企業向けサービス価格 ・7月景気動向指数(確報)	・米7月S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格 ・米9月消費者信頼感指数 ・米FOMC(～26日)
26日(水)	-----	・米8月新築住宅販売
27日(木)	-----	・独9月消費者物価(速報) ・米4～6月期GDP(3次速報) ・米8月製造業受注 米8月耐久財受注(確報)
28日(金)	・8月労働力調査 ・9月東京都都区消費者物価 ・8月鉱工業生産(速報) ・8月新設住宅着工	・ユーロ圏9月消費者物価(速報) ・米8月個人所得・支出 ・米9月ミシガン大学消費者マインド(確報) ・米9月シカゴ購買部協会景気指数

【当面の主要行事日程(2018年9月～)】

米FOMC(11月7～8日、12月18～19日、1月29～30日)
 ECB政策理事会(10月25日、12月13日、1月24日)
 日銀金融政策決定会合(10月30～31日、12月19～20日、1月22～23日)
 日米首脳会談(9月25日開催予定)、日米貿易協議(FFR、9月24日開催予定)

国際為替部
 チーフマーケット・エコノミスト
 唐鎌 大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

経済指標カレンダー (2018年9月)

月		火		水		木		金		週末	
3		4		5		6		7			
日本 自動車販売台数 (8月) ユーロ圏 製造業PMI (確報、8月)		日本 マネタリーベース (8月) 米国 建設支出 (7月) 米国 ISM製造業景気指数 (8月)		ユーロ圏 サービス業PMI (確報、8月) 米国 貿易収支 (7月)		ドイツ 製造業受注 (7月) 米国 ADP雇用統計 (8月) 米国 耐久財受注 (確報、7月) 米国 製造業受注 (確報、7月)		日本 毎月勤労統計 (7月) 日本 景気動向指数 (速報、7月) ドイツ 貿易収支 (7月) ドイツ 鉱工業生産 (7月) ユーロ圏 GDP (確報、4～6月期) 米国 雇用統計 (8月) 米国 失業率 (8月)			
10		11		12		13		14			
日本 GDP (確報、4～6月期) 日本 国際収支 (7月) 日本 貸出・預金動向 (8月) 日本 景気ウォッチャー調査 (8月) 米国 消費者信用残高 (7月)		日本 マネースtock (8月) 日本 第三次産業活動指数 (7月) 米国 卸売売上高 (7月)		ユーロ圏 鉱工業生産 (7月) 米国 生産者物価 (8月) 米国 ページュブック		日本 国内企業物価 (8月) ドイツ 消費者物価 (確報、8月) ユーロ圏 ECB理事会 (フランクフルト) 米国 消費者物価 (8月) 米国 財政収支 (8月)		日本 鉱工業生産 (確報、7月) ユーロ圏 貿易収支 (7月) 米国 小売売上高 (8月) 米国 鉱工業生産 (8月) 米国 企業在庫 (7月) 米国 ミシガン大学消費者マインド (速報、9月)			
17		18		19		20		21			
日本 敬老の日 ユーロ圏 消費者物価指数 (確報、8月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数 (9月)		米国 TICレポート (対外対内証券投資) (7月) 日本 金融政策決定会合 (～19日)		日本 貿易収支 (8月) 米国 住宅着工 (8月)		米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数 (9月) 米国 景気先行指数 (8月) 米国 中古住宅販売 (8月)		日本 全国消費者物価 (8月) ユーロ圏 製造業PMI (速報、9月) ユーロ圏 サービス業PMI (速報、9月)			
24		25		26		27		28			
日本 秋分の日 ドイツ IFO企業景況指数 (9月) 米国 シカゴ連銀全米活動指数 (8月)		日本 企業向けサービス価格 (8月) 日本 景気動向指数 (確報、7月) 米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格 (7月) 米国 消費者信頼感指数 (9月) 米国 FOMC (～26日)		米国 新築住宅販売 (8月)		ドイツ 消費者物価 (速報、9月) 米国 GDP (3次速報、4～6月期) 米国 個人消費 (3次速報、4～6月期) 米国 PCEコアデフレーター (3次速報、4～6月期) 米国 耐久財受注 (速報、8月) 米国 製造業受注 (速報、8月)		日本 失業率 (8月) 日本 東京都都区消費者物価 (9月) 日本 鉱工業生産 (速報、8月) 日本 新設住宅着工 (8月) ユーロ圏 消費者物価指数 (速報、9月) 米国 個人消費・所得 (8月) 米国 ミシガン大学消費者マインド (確報、9月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数 (9月)			

[注] *を付したものは公表予定が未定であることを示す。
[資料] ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー (2018年10月)

月		火		水		木		金		週末	
1	日本 日銀短観 (7～9月期) 日本 自動車販売台数 (9月) ユーロ圏 製造業PMI (確報、9月) ユーロ圏 失業率 (8月) 米国 建設支出 (8月) 米国 ISM製造業景気指数 (9月)	2	日本 マネタリーベース (9月) ユーロ圏 財務相会合 (ルクセンブルク)	3	ユーロ圏 サービス業PMI (確報、9月) 米国 ADP雇用統計 (9月)	4	米国 耐久財受注 (確報、8月) 米国 製造業受注 (確報、8月)	5	日本 毎月勤労統計 (8月) 日本 景気動向指数 (速報、8月) ドイツ 製造業受注 (8月) 米国 貿易収支 (8月) 米国 雇用統計 (9月) 米国 失業率 (9月) 米国 消費者信用残高 (8月)		
8	日本 体育の日 ドイツ 鉱工業生産 (8月)	9	日本 国際収支 (8月) 日本 景気ウォッチャー調査 (9月) ドイツ 貿易収支 (8月)	10	米国 生産者物価 (9月) 米国 卸売売上高 (8月)	11	日本 国内企業物価 (9月) 日本 貸出・預金動向 (9月) 米国 消費者物価 (9月) 米国 財政収支 (9月)	12	日本 マネーストック (9月) 日本 第三次産業活動指数 (8月) ドイツ 消費者物価 (確報、9月) ユーロ圏 鉱工業生産 (8月) 米国 ミシガン大学消費者マインド (速報、10月) バリ (インドネシア) IMF・世界銀行年次総会 (～14日)		
15	日本 鉱工業生産 (確報、8月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数 (10月) 米国 小売売上高 (9月) 米国 企業在庫 (8月)	16	ユーロ圏 貿易収支 (8月) 米国 鉱工業生産 (9月) 米国 TICレポート (対外対内証券投資) (8月)	17	ユーロ圏 消費者物価指数 (確報、9月) 米国 住宅着工 (9月) 米国 FOMC議事要旨 (9月25～26日開催分)	18	日本 貿易収支 (9月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数 (10月) 米国 景気先行指数 (9月)	19	日本 全国消費者物価 (9月) 米国 中古住宅販売 (9月)		
22	米国 シカゴ連銀全米活動指数 (9月)	23		24	ユーロ圏 製造業PMI (速報、10月) ユーロ圏 サービス業PMI (速報、10月) 米国 新築住宅販売 (9月) 米国 ページュブック	25	日本 企業向けサービス価格 (9月) ドイツ IFO企業景況指数 (10月) ユーロ圏 ECB理事会 (フランクフルト) 米国 耐久財受注 (速報、9月) 米国 製造業受注 (速報、9月)	26	日本 東京都都区部消費者物価 (10月) GDP (1次速報、7～9月期) 米国 個人消費 (1次速報、7～9月期) 米国 PCEコアデフレーター (1次速報、7～9月期) 米国 ミシガン大学消費者マインド (確報、10月)		
29	米国 個人消費・所得 (9月)	30	日本 失業率 (9月) 日本 金融政策決定会合 (～31日) ユーロ圏 GDP (速報、7～9月期) ドイツ 消費者物価 (速報、10月) 米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格 (8月) 米国 消費者信頼感指数 (10月)	31	日本 鉱工業生産 (速報、9月) 日本 新設住宅着工 (9月) ユーロ圏 失業率 (9月) ユーロ圏 消費者物価指数 (速報、10月) 米国 ADP雇用統計 (10月) 米国 雇用コスト (7～9月期) 米国 シカゴ購買部協会景気指数 (10月)						

[注] *を付したものは公表予定が未定であることを示す。
[資料] ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2018年9月20日	安倍首相による緩和撤退宣言～言うは易し…だが～
2018年9月19日	市場は「返り血」を浴びるまで分らないのか？
2018年9月18日	基軸通貨ユーロという「見果てぬ夢」～機能面からの再考～
2018年9月14日	週末版「ECB政策理事会を終えて～再投資方針とユーロ高に対するヒントあり～」
2018年9月13日	突然の基軸通貨宣言をどう読むか～ユンケル発言について～
2018年9月12日	続・リーマン10年で注目される次のショックの「芽」
2018年9月10日	リーマン10年で注目される次のショックの「芽」
2018年9月7日	週末版「次の標的は日本」の本気度～第2回日米貿易協議（FFR）を前に～
2018年9月6日	軟化を続けるソフトデータ～皮肉な米経済の好調～
2018年9月5日	ECB利上げを巡り政治的な動き？～ECOFINのテーマに～
2018年9月4日	主要通貨で「膠着」が続く理由～厳寄せは新興国に～
2018年9月3日	「保護主義は中間選挙まで」という危うい楽観
2018年8月31日	週末版
2018年8月29日	米国株独り勝ちをどう読むか？～BISビューに基づく抑制へ～
2018年8月28日	メインシナリオへのリスク点検～高まる欧州政治リスク～
2018年8月27日	ECB総裁が欧州委員長か～メルケル独首相の憂心～
2018年8月24日	週末版
2018年8月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2018年7月分）
2018年8月17日	週末版（2018年上半期の対米資本フローの整理～色褪せる「カネ余り」、「ゴルドロックス」～）
2018年8月15日	イタリア国債利回りの急騰～もう1つの潜在的危機～
2018年8月14日	第二次資本流出局面が始まったのか？
2018年8月13日	トルコショックの真の脅威は「欧州難民危機」の再燃
2018年8月10日	週末版
2018年8月9日	ボンド安が支えるユーロ堅調～元安、トルコリラ安も～
2018年8月8日	2018年上半期の円相場場の基礎的需給環境
2018年8月7日	中国の米国債売却はあり得るのか？
2018年8月6日	ソフトデータが暗示する世界経済失速
2018年8月3日	週末版（BOE利上げの正しい読み方～市場の本音は「理解に苦しむ」～）
2018年8月2日	FOMCを終えて～肅々とオーバーキルを予想～
2018年8月1日	日銀金融政策決定会合を終えて～いつまでもチャンスは無い～
2018年7月30日	メインシナリオへのリスク点検～いよいよ「伝家の宝刀」？～
2018年7月27日	週末版（ECB政策理事会を終えて～金利ガイダンスの正しい読み方～）
2018年7月26日	日銀正常化観測と日米貿易協議（FFR）の関係性
2018年7月20日	週末版「グレートモデレーション」再来を疑う時～「保険の売り」は慢心の表れ～
2018年7月19日	危うい「理由なきドル/円上昇」～金利・物価情勢は支持せず～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2018年6月分）
2018年7月17日	貿易戦争懸念と為替市場の現状～一部市場に異変も～
2018年7月13日	週末版「新興国市場の混乱」と「炭鉱のカナリア」～米国のクレジットスプレッドは着実に拡大中～
2018年7月12日	ドイツ住宅市場の現状と展望～見過ごされる「バブルの芽」～
2018年7月10日	混乱を深めてきた英国のEU離脱プロセス～論点整理～
2018年7月9日	米中間戦の時～欧州も巻き込み貿易大戦の様相か？～
2018年7月6日	週末版
2018年7月5日	ECBを待ち受ける陰路～「試験の秋」～
2018年7月4日	EUが迎える新たな危機～債務危機から難民危機へ
2018年7月3日	米中貿易摩擦の読み方～「返り血」は避けたい米国～
2018年7月2日	2018年上半期を終えて～予測の王道は変わらず～
2018年6月29日	週末版
2018年6月27日	メインシナリオへのリスク点検～再び先鋭化した保護主義～
2018年6月26日	またも生き残ったメイ英首相～EU離脱法案の成立～
2018年6月22日	週末版
2018年6月21日	ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機
2018年6月20日	「ユーロ危機2.0」への警告～米国とイタリアの挟撃～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2018年5月分）
2018年6月19日	改めて整理する「中立金利との距離感」～分水嶺～
2018年6月15日	週末版（ECB政策理事会を終えて～「APPIはタカ派」、「利上げはハト派」の折衷案～）
2018年6月14日	FOMCを終えて～「後ろめたさ」を抱きつつの運営に～
2018年6月13日	米朝首脳会談～市場の関心は「非核化完了」or「協議決裂」～
2018年6月12日	アベノミクス高値「125.86円」から3周年
2018年6月11日	FOMCプレビュー～テーマは「中立金利との距離感」～
2018年6月8日	週末版（外国人労働者の受け入れ拡大について～成長を望むなら～）
2018年6月7日	主要な景気先行指標の現状～世界経済の失速は露わに～
2018年6月6日	ECB政策理事会プレビュー～イタリア危機を越えて～
2018年6月5日	イタリア危機は去ったのか？～このままでは済まず～
2018年6月4日	鮮明になった「G6+1」の構図
2018年6月1日	週末版（イタリア、スペイン懸念は波及するのか～イタリア発スペイン経由南米行き？～）
2018年5月30日	17年末の本邦対外資産・負債状況～安全通貨「円」の本領～
2018年5月29日	続・イタリア政局の現状と展望～ECBが被る誤算～
2018年5月25日	週末版
2018年5月23日	イタリア政局の現状と展望～論点整理～
2018年5月22日	「双子の赤字」と整合的なドル安予想
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2018年4月分）
2018年5月21日	上がらない米インフレ期待から何を讀むべきか？
2018年5月18日	週末版（続・米金利上昇の余波を受ける新興国について～金融市場は「我慢比べ」の段階に～）
2018年5月17日	軟化するユーロ相場場の現状と展望について
2018年5月16日	次期NY連銀総裁の考える中立金利の在り方について
2018年5月15日	APPの総括と今後の展望～仏中銀総裁講演を受けて～
2018年5月14日	米金利上昇の「負の側面」～家計・企業・海外～
2018年5月11日	週末版
2018年5月10日	最近のユーロ圏経済の失速について
2018年5月9日	海外企業買収と円相場について
2018年5月8日	米金利上昇の余波を受ける新興国について
2018年5月2日	メインシナリオへのリスク点検～通商政策リスクは顕在～
2018年5月1日	日銀金融政策決定会合～市場は「誤解」してきたのか？～
2018年4月27日	週末版（ECB政策理事会を終えて～利上げはユーロ高との戦いに～）
2018年4月26日	米10年金利「3%」をどう解釈するか
2018年4月25日	日銀金融政策決定会合プレビュー～微修正の決断はまだ先～
2018年4月24日	ECB政策理事会プレビュー～重要決定前の露払い～
2018年4月23日	節目を迎える投機ポジション～短期目線に振られるべからず～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2018年3月分）
2018年4月20日	週末版（日米首脳会談を終えて～「古くて新しい問題」とライトハイザー対策～）
2018年4月18日	IMF世界経済見通しを受けて～強まった警戒色～